

# いなみ野ため池ミュージアム

～先人の“遺産”を次代の“資産”に～



いなみ野ため池ミュージアム 運営協議会  
兵庫県東播磨県民局

## ●水をまもる者たちに●

何億年もの時間の中で、無からすべてを生んだのは水だ。

母の胎内を泳ぐように、魚類が水の世界を謳歌したのち、進化をとげた生き物たちが初めて陸地に上がってからも、水がすべてを生かしてきた。

人類を地上の覇者とした以後も、水は、あるときは優しい聖母の顔で恵みをもたらし、あるときはまた厳しい父親の顔で人を絶望に突き落としてきた。

それでも人は、叡智を集めて水を制し、今日にいたる文明を築いたのだ。

我々のふるさとに散らばるため池は、いのちの水を守ろうという、もっとも原初的な、人類の願いの結晶であろう。ほうっておけば川へと流れ海から気化して天上へ還ってしまうめぐみの水を、せめて地上に留めおこうとした、それはせつないまでの祈りの跡なのだ。

ところが2011年3月、我々は、海底ふかく起きた地球の雄叫びによって、制したはずの地上の文明のことごとくを失った。東日本大震災は、テクノロジーという名の傲慢を、一瞬にして無に帰したのだ。

失われたものはもどらない。しかし、大事なことは思い出した。我々はいまだ自然という太古からある一個の地球の上で生かされていること。そして生きるためには、また水とともにあらねばならないことを。

幸い、播磨にはまだ、水瓶が残った。雨の少ないこの風土で、先人たちが懸命に守った、ため池という命の水の容れ物だ。

千年の時を生き抜いたため池を、歴史に葬る権利は我々にはない。生殺与奪を決めるのは、いつの時代も水でしかない。

ならばまもりぬこう。生まれた時からそこにあった、景色の一部の尊い水辺。一人一人が今ここに生かされているのも、この地に水があったからと振り返れば、けがしてはならないものの意味がわかるだろう。

ため池をまもる我々の活動もやっと十六年。

そこに棲む魚や虫や貝や蛙、同じ水から生まれたものたちとともに重ねた時間だ。

同じ時間に、この地では、離農が加速し、宅地化はさらに勢いを増している。価値を忘れられたため池は、窮屈そうな空を映すのみ。年を追うごと、状況がさらに深刻になるのは避けられそうもない。

あらたな一年、十年、そして我々が去った後の千年の世に、同じ水辺の輝きがこの地にあるか。

——それは、今このときを生きる我々の手にかかっている。そんな気がする。





# ●東播磨のため池●

## ○兵庫県は日本一の「ため池県」

兵庫県には、全国で約38,000箇所の農業用ため池があります。その数は全国の20%にあたり、日本一の「ため池県」といえます。

## ○東播磨は「ため池王国」

東播磨地域(明石市・加古川市・高砂市・稲美町・播磨町)は日本有数のため池密度を誇り、甲子園球場の約12倍という県内最人の加古人池(稲美町)や、白鳳3年(675年)に築かれたという記録が残る県内最古の天満大池(稲美町)をはじめ、アサザやオニバスといった絶滅が危惧される動植物が生息する、ウォータースポーツが楽しめるなど、個性豊かなため池が数多くあります。

## ○ため池と水路が織りなす水利ネットワーク

水に恵まれない自然的条件のもと、先人達は知恵と労力を出し合い、新田開発と疏水事業により、地域の発展の礎を築くとともに、今もこの地を潤しています。その水利ネットワークやため池群が織りなす風景は、文化庁の「文化的景観180カ所」や地球環境関西フォーラムの「関西の風景100選」、農林水産省の「ため池百選」や「疏水百選」にも選定されるなど、文化財としても大変価値のあるものです。

図1 都道府県別ため池数



兵庫県:H30.4兵庫県農地整備課調べ  
その他:H26.3農林水産省農村振興局調べ

図2 東播磨地域のため池数



# ●主な活動内容●

## ～守り、活かし、次世代に継承する取組～



クリーンキャンペーン



かいぼり(池干し)



池にまつわる神事・オクワハン



ため池を使った学習会



「水をもとめて」読書感想文コンクール表彰式



スタンドアップパドルボード(SUP)体験教室



アサザの保全活動



小学校での「ため池学習」



オニバス観察会



# いなみ野ため池ミュージアムの展開

## ○背景（ため池を取り巻く課題）

近年、農業者の高齢化や後継者不足、農地の減少などにより、ため池等の適正な維持・管理が困難となっている地域が増えてきています。また、都市化により、ゴミ投棄や水質悪化等の増加や水難事故の発生など、ため池は「汚い、臭い、危険」といったイメージを持つ存在となっています。

このため、ため池が抱えている問題を「ため池管理者」と「一般住民」が相互に理解しあい、地域の貴重な財産である「ため池」として保全していく方策が求められていました。



ゴミの不法投棄の増加

## ○いなみ野ため池ミュージアムの展開（平成14年度～）

東播磨を象徴する「ため池群と水路網」及びその歴史的・文化的資源を地域の財産として“守り、活かし、次世代に継承する”ため、農業者はもとより地域住民、企業、実践活動団体、教育関係者や行政など多様な主体の参画と協働のもと、地域全体を“まるごと博物館”とする「いなみ野ため池ミュージアム」を展開しています。

## ○ミュージアムの概念

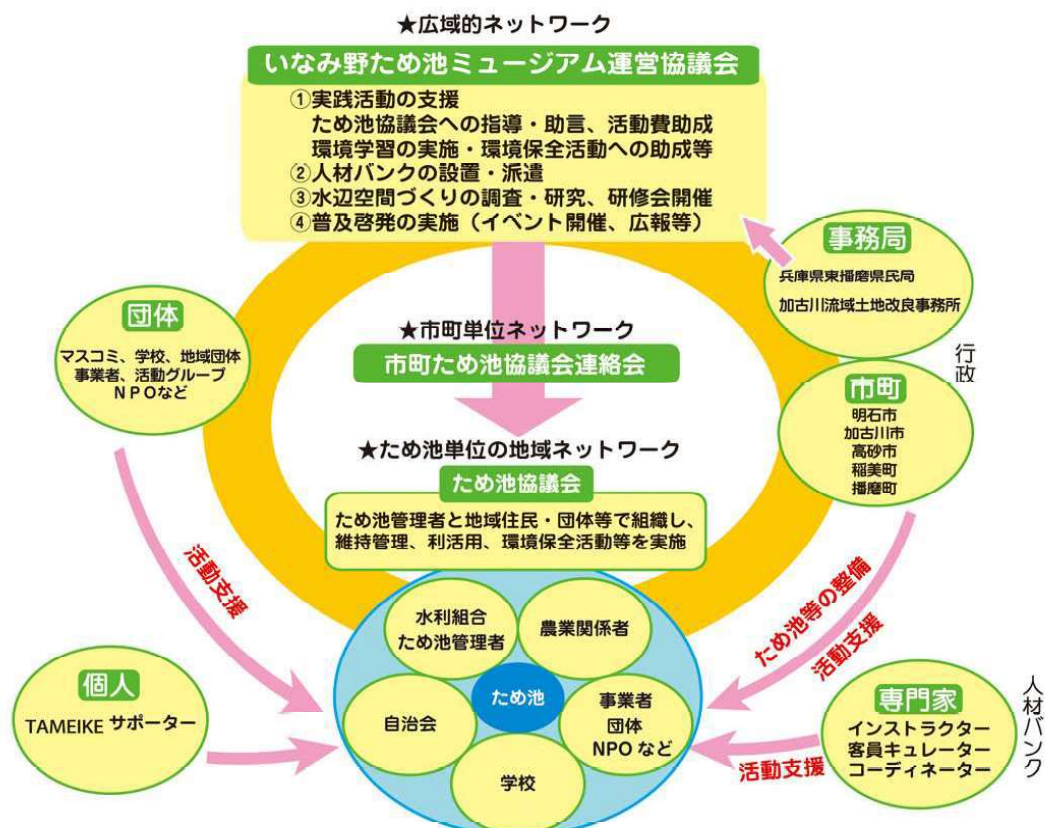
エコ・ミュージアム（1960年代にフランスのリヴィエール（G.H. Rivière）氏が提唱）手法により、「ため池群や水路網」を核として関連施設や歴史・文化、自然環境等の地域資源を発掘・ネットワーク化し、地域全体をまるごと博物館として運営するとともに、それらの資源を展示するというコンセプトのもと住民主体の保全・活用に向けた地域づくり活動を展開しています。



# 運営体制

多様な主体をネットワーク化する中間支援組織として、「いなみ野ため池ミュージアム運営協議会」を平成19年3月に設置し、ため池協議会の活動支援やイベント・啓発等によるミュージアム演出などを運営しています。

- ・H30会員数103団体（ため池協議会76団体、関係団体（教育機関、実践活動団体等）21団体、行政6団体）
- ・H30人材バンク：客員キュレーター（大学教授等）48人、インストラクター（実践活動家）215人





## ●新たな地域づくり等の展開●

ため池群や水路網を対象とした「いなみ野ため池ミュージアム」の取組の新たな展開として、里山、ため池、疏水、河川、海など「循環する水の路」に着目し、「水」に関わりを持つ様々な分野の活動をつなぐなど、新たな地域づくりのさらなる展開を図ります。

### ため池コウノトリプロジェクト

水辺との心豊かな暮らしが思い出に残る東播磨づくりを進めるため、かいほり中の「ため池」に定期的に飛来してくるコウノトリが、地域住民の身近な「ため池」に舞い降りる生息環境づくりを推進し、地域への愛着と誇り、自然に生かされている気持ちを醸成します。



東播磨のため池に来たコウノトリ(撮影:橋 保)

### 里と海の協働による「豊かな海の再生」プロジェクト

ため池協議会と漁業協同組合が連携・協働し、かいほり(池干し)により、ため池の栄養分を海に届け、ノリの色落ち対策等につなげる活動を展開。この取組を契機に漁業者がため池のクリーンキャンペーンなどに参加する交流活動に発展しています。



消防ポンプによる泥のかくはん

### ミュージアムサポーター制度の創設

今後、ため池管理者の高齢化や減少が進むなか、ため池に関心を持つ地域外の都市住民等を「サポーター」として登録し、ため池協議会からの作業応援やイベント情報を配信し、サポーターとため池協議会の交流を促進します。

## ●これまでの成果とこれから●

### これまでの成果

これまでの取組により、①ため池の適切な維持管理、②多面的機能の維持・発揮、③ため池保全活動を通じた地域づくりなど、ため池保全手法として一定の成果が見られています。

#### ○運営体制の充実

ミュージアム活動の基盤となる「ため池協議会」の組織数や人材バンク登録数は、着実に増加しています。

#### ○地域住民のため池保全活動の定着化(ため池に対する意識の向上)

多くの地域住民が、ため池保全活動やイベントに参加するなど活動が定着化してきています。また、日頃から散歩等に利用されるなど、地域の財産としての意識が向上するとともに、住民の連帯感を育んでいます。

#### ○教育機関や実践活動団体とのネットワーク化の促進

県内の大学や高校等の教育機関や地域の実践活動グループ等との連携により、希少種の観察会や外来種駆除活動等の保全活動が継続的に実施されるなど、信頼関係が構築され、活動の輪が広がっています。

### これから

今後、ため池管理者の高齢化や開発等による農地の減少が深刻化してくるなか、ゲリラ豪雨の多発など決壊リスクが増大する一方、洪水防止等の多面的機能へのニーズの高まりなど、新たな課題が増えてきています。

このため、住民の保全活動拡大、ため池管理後継者の育成、管理体制の強化、農業生産活動の維持・活性化、多面的機能の発揮・活用をさらに進めていく必要があるとともに、10年後、20年後の長期的な視点を持って、今後、残していくべき「ため池」を永続的に保全するための新たな仕組みづくりの検討が急務となっています。

これまでの経験知と関係者の話し合いの場での議論を通じて、先人が築き、守り、伝えてきた「ため池」を次世代に引き継いでいくため、「いなみ野ため池ミュージアム」はこれからも挑戦していきます。



## 2012 (平成24) 年度

- ………… いなみ野ため池ミュージアム10周年記念事業式典開催 (参加者約500人)  
※11月18日、兵庫大学にて開催  
記念講演、学生の研究発表、ため池協議会の活動報告などを実施

## 2013 (平成25) 年度

- ………… **第15回「日本水大賞」農林水産大臣賞受賞**  
※農業関係者だけでなく、地域住民の力を結集した活動が高く評価され、農林水産大臣賞を受賞。  
7月2日に表彰式・受賞活動発表会が日本科学未来館(東京都江東区)で開催  
<日本水大賞>事務局：(社)日本河川協会  
安全でおいしく、きれいな水にあふれる日本と地球をめざし、水循環系の健全化に貢献した活動を顕彰する。



「日本水大賞」農林水産大臣賞授賞式

## 2015 (平成27) 年度

- ………… いなみ野ため池ミュージアム推進フォーラム  
「次代につなぐ『ため池』フォーラムin東播磨」開催 (参加者約1,300人)  
※11月2日、加古川市民会館大ホールにて開催  
県「ため池の保全等に関する条例」の改正を受け、今後、市町の地域性を踏まえた「ため池保全策」の具体化や新たなミュージアム展開に向けて、東播磨の市町長をはじめ関係者の方々と共に考えていく場としてフォーラムを実施



市町長を交えた座談会

## 2016 (平成28) 年度

- ………… **ため池コウノトリプロジェクト始動**  
※「ため池群と水路網」を核とした地域主体の生息環境づくりや餌場の確保のため、かいほりをリレー方式で進めるなど、コウノトリが日常的に見られる東播磨地域の実現をめざし生態系の再生を促進し、人とコウノトリの共生する地域づくりや地域活性化を推進する



水田魚道 (高砂市阿弥陀町)

## 2017 (平成29) 年度

- ………… **県政150周年記念事業**  
『ため池博覧会2018』開催 (参加者約5,640人)  
※平成30年1月～12月の1年間、東播磨管内3市2町の各地で開催する交流活動・イベント会場にて開催  
水辺地域づくり関係団体が主体的に実施する交流活動や交流イベント全25箇所をリレー方式で実施



ため池博覧会大会旗の受渡し  
(稲美町天満大池)

## 2018 (平成30) 年度

- ………… **全国ため池フォーラム開催 (参加者約700人)**



本フォーラム



現地研修

- ………… **「東播磨ため池歳時記」発行**

※いなみ野ため池ミュージアム運営協議会加入団体(75団体)の代表的なため池を対象として、各ため池協議会の取組みを紹介



# ●いなみ野ため池ミュージアム これまでの歩み●

2002 (平成14) 年度 …… 県及び3市2町でいなみ野ため池ミュージアム推進実行委員会設立

2003 (平成15) 年度 …… いなみ野ため池ミュージアム人材バンクを設置

………… 講座「いなみ野ため池学」開講 (～H19)

2004 (平成16) 年度 …… 稲美町ため池協議会連絡会設立

2005 (平成17) 年度 …… 明石市、加古川市、高砂市、播磨町に「ため池協議会連絡会」設立

2006 (平成18) 年度 …… いなみ野ため池ミュージアム運営協議会設立 (平成19年3月)

………… いなみ野パールプロジェクト始動

※東播磨の在来種であるドブガイ(愛称:ぬばたま貝、淡水に生息する二枚貝)による淡水真珠づくりをシンボルとして、水辺環境の保全・再生や生物多様性の保全の取り組みを行う

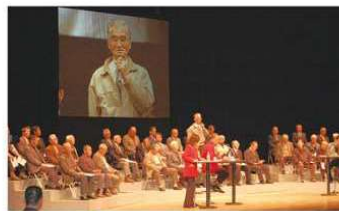


ぬばたま貝放流



採取された淡水真珠

………… 全国ため池フォーラム開催 (参加者約1,000人)



本フォーラム



エクスカージョン

2007 (平成19) 年度 …… インストラクター養成講座開催 (～H21)



フィールドワーク



講座風景

2009 (平成21) 年度 …… いなみ野ため池ミュージアム「オンリー1プロジェクト」の展開

※周辺地域を含めて地形、歴史、文化などで特徴づけられる各ゾーン単位でテーマを設定し、展示資源の抽出・ネットワーク化により地域全体を博物館として演出

………… 近代化を支えたプロジェクト“淡河川山田川疏水”の「記録誌」発行、郷土学習副読本「水をもとめて」作成

2010 (平成22) 年度 …… 全国疏水フォーラム開催 (参加者約450人)

………… 「里と海の協働による豊かな海の再生」プロジェクトの展開

※かいほり(池干し)により、里の栄養塩を海に送ることで、ため池の適正な維持管理に加えノリの色落ち対策等豊かな海の再生を図り、里と海の交流を行う

2011 (平成23) 年度 …… いなみ野ため池ミュージアムを核とした循環する水の路プロジェクトの展開

※先導プロジェクトの実施(里と海の協働による豊かな海の再生プロジェクト、いなみ野竹採り物語、いなみ野パールプロジェクトⅡ)



# いなみ野ため池ミュージアムの運営

## いなみ野ため池ミュージアム運営協議会の構成団体

2019.1現在

1	A-1	釜谷池協議会 (明石市大久保町)	62	I-5	竜ヶ池につどう会 (稲美町中村)
2	A-2	西島ため池協議会 (明石市大久保町)	63	I-6	琴池を愛する会 (稲美町国安)
3	A-3	黒星池協議会 (明石市鳥羽)	64	I-7	加古の池を愛する会 (稲美町加古)
4	A-4	江井ヶ島ため池協議会 (明石市大久保町)	65	I-8	播州葡萄の里ため池協議会 (稲美町印南)
5	A-5	清水ため池協議会 (明石市魚住町)	66	I-9	印西地区ため池協議会 (稲美町印南)
6	A-6	長坂寺ため池協議会 (明石市魚住町)	67	I-10	千波池ため池協議会 (稲美町国岡)
7	A-7	柳井ため池協議会 (明石市魚住町)	68	I-11	蛸草地区ため池協議会 (稲美町蛸草)
8	A-8	清水新田ため池協議会 (明石市魚住町)	69	I-12	掌中橋保全協議会 (稲美町印南)
9	A-9	松陰新田ため池協議会 (明石市大久保町)	70	I-13	天満大池ため池協議会 (稲美町六分一)
10	A-10	金ヶ崎ため池協議会 (明石市魚住町)	71	I-14	入ヶ池郷ため池を愛する協議会 (稲美町加古・北山)
11	A-11	松陰ため池協議会 (明石市大久保町)	72	I-15	野々池協議会 (稲美町野谷・草谷)
12	A-12	福里ため池協議会 (明石市二見町)	73	I-16	相野環境保全協議会 (稲美町草谷)
13	A-13	東二見ため池協議会 (明石市二見町)	74	H-1	かがやきの北池コミュニティ (播磨町二子)
14	A-14	鴨谷池ため池協議会 (明石市魚住町)	75	H-2	妹池コミュニティ (播磨町古田)
15	A-15	中尾ため池協議会 (明石市魚住町)	76	H-3	新井大池ため池協議会 (播磨町古宮)
16	A-16	林谷池ため池協議会 (明石市和坂)	77	1	神戸新聞社
17	A-17	藤江雲楽池ため池協議会 (明石市藤江)	78	2	ラジオ関西
18	A-18	第17号池コーポレーション (明石市魚住町)	79	3	兵庫南農業協同組合
19	K-1	峠池を考える会 (加古川市野口町)	80	4	あかし農業協同組合
20	K-2	寺田池協議会 (加古川市平岡町)	81	5	加古川市南農業協同組合
21	K-3	野田池なかよしの会 (加古川市志方町)	82	6	兵庫県土地改良事業団体連合会
22	K-4	別府皿池の未来を考える会 (加古川市別府町)	83	7	兵庫大学・ため池研究所
23	K-5	野村池友の会 (加古川市八幡町)	84	8	播磨ウエットランドリサーチ
24	K-6	西牧ため池協議会 (加古川市志方町)	85	9	兵庫地理学協会
25	K-7	ながいけの会 (加古川市上荘町)	86	10	NPO地域再生研究センター
26	K-8	レイン・プラン水足ため池に親しむ会 (加古川市野口町)	87	11	21世紀研究所
27	K-9	投松畑谷池守る会 (加古川市志方町)	88	12	いなみ野パープルプロジェクト推進実行委員会
28	K-10	山中ため池協議会 (加古川市志方町)	89	13	水辺に学ぶプロジェクト
29	K-11	成井ため池協議会 (加古川市志方町)	90	14	東播用水土地改良区
30	K-12	ながむろ水辺ミュージアム (加古川市志方町)	91	15	明石溜池研究会
31	K-13	白助池協議会 (加古川市野口町)	92	16	神戸市立須磨海浜水族園
32	K-14	横大路ため池協議会 (加古川市志方町)	93	17	和亀保護の会
33	K-15	高畑地域づくり協議会 (加古川市志方町)	94	18	エコウィングあかし 自然グループ
34	K-16	神野ため池協議会 (加古川市神野町)	95	19	明石のはらくらぶ
35	K-17	上西条地域環境保全協議会 (加古川市八幡町)	96	20	特定非営利活動法人 環境ユーステック
36	K-18	中西条農・水・環境協議会 (加古川市八幡町)	97	21	はりま★子ども若者応援隊
37	K-19	富木地区環境保全協議会 (加古川市西神吉町)	98	22	兵庫県 (東播磨県民局・加古川流域土地改良事務所)
38	K-20	カモメ池協議会 (加古川市西神吉町)	99	23	明石市
39	K-21	宮前・神吉ため池協議会 (加古川市西神吉町・東神吉町)	100	24	加古川市
40	K-22	天下原ため池協議会 (加古川市東神吉町)	101	25	高砂市
41	K-23	新井用水に親しむ会 (水路:加古川市~播磨町)	102	26	稲美町
42	K-24	土山ため池協議会 (加古川市平岡町)	103	27	播磨町
43	K-25	大池五ヶ村ため池協議会 (加古川市志方町)	協力		兵庫県立農業高等学校
44	K-26	西山ため池協議会 (加古川市志方町)			兵庫県立明石清水高等学校
45	K-27	葉栗ため池協議会 (加古川市上荘町)			国立明石工業高等専門学校
46	K-28	広尾西ため池協議会 (加古川市志方町)			兵庫県立大学
47	K-29	原地域づくり協議会 (加古川市志方町)			兵庫大学
48	T-1	NPO法人堂池地区ため池協議会 (高砂市北浜町)			神戸学院大学
49	T-2	阿弥陀新池ため池協議会 (高砂市阿弥陀町)			兵庫・水辺ネットワーク
50	T-3	魚橋鴻ノ池ため池協議会 (高砂市阿弥陀町)			日本野鳥の会ひょうご
51	T-4	長尾ため池協議会 (高砂市阿弥陀町)			明石ため池清掃志隊 (明石市)
52	T-5	北脇地区ため池協議会 (高砂市北浜町)			平岡・寺田池を語る会 (加古川市)
53	T-6	生石ため池協議会 (高砂市阿弥陀町)			アサザを育む会 (稲美町)
54	T-7	阿弥陀西部ため池協議会 (高砂市阿弥陀町)			メダカのコタロー劇団
55	T-8	北山ため池協議会 (高砂市阿弥陀町)			明石市漁業組合連合会
56	T-9	北池ため池協議会 (高砂市阿弥陀町)			高砂市漁業組合連合会
57	T-10	南池ため池協議会 (高砂市阿弥陀町)			東播磨漁業協同組合
58	I-1	内ヶ池ため池協議会 (稲美町岡)			播磨町漁業協同組合
59	I-2	和田新池公園協議会 (稲美町和田)			国土交通省近畿地方整備局姫路河川国道事務所
60	I-3	梶ヶ池ため池協議会 (稲美町森安)			
61	I-4	おにおいたため池協議会 (稲美町野寺)			





平成30年1月～30年12月、県政150周年記念事業として、ため池協議会等が主体的に実施する交流活動をリレーイベント方式で実施する「ため池博覧会2018」を開催しました。大会旗を作製し、各イベントをつなぐバトンの代わりに、大会旗の受渡しを行いました。

参加者には、ため池カードを配布しました。

参加賞  
ため池カード



リレーイベント大会旗の受渡し



加古大池でのSUP体験教室



各リレーイベントを開催した団体の代表者様より、大会旗に直筆で寄せ書き（メッセージ）を書いていただきました。

## 東播磨ため池歳時記



絵：姫路市在住版画家 岩田健三郎

地域の財産であるため池を「まもり」「いかす」そして次世代に継承されることをねがい、この東播磨ため池歳時記をつくりました。この歳時記では、各ため池協議会の取組み等を紹介しています。

### 【内容】

いなみ野ため池ミュージアム運営協議会に加入されている75団体の代表的なため池を対象として、次の内容をまとめたものです。

- ①ため池データ
- ②ため池訪問ルール
- ③ため池マップ
- ④ため池紹介
- ⑤ため池ごよみ



## いなみ野ため池ミュージアムの活動を紹介しています



ホームページ  
<http://www.inaminotameike-museum.com/>



フェイスブックページ  
<https://www.facebook.com/いなみ野ため池ミュージアム運営協議会-124893701708634/>



インスタグラムページ  
<https://www.instagram.com/inaminotameike/>

### 【問い合わせ先】

#### いなみ野ため池ミュージアム運営協議会

- 兵庫県東播磨県民局水辺地域づくり担当  
〒675-8566  
加古川市加古川町寺家町天神木97-1  
TEL：079-421-9026 FAX：079-424-9977
- 兵庫県加古川流域土地改良事務所  
〒673-0423  
三木市宿原字寺ノ前70  
TEL：0794-82-9824 FAX：0794-83-6835